

# 令和8年第4回東員町教育委員会会議録

東員町教育委員会

- 1 開 会 令和8年 4月27日(月) 午前 9時30分
- 2 閉 会 令和8年 4月27日(月) 午前10時40分
- 3 場 所 東員町総合文化センター 第1研修室
- 4 出 席 者  
教育長 日置 幸嗣  
委員(職務代理者) 向山 節雄  
委員 木村 陽一  
委員 松宮 あけみ  
委員 川瀬 理絵  
<事務局> 事務局長兼社会教育課長 丸山 太  
教育総務課長 末永 泰介  
学校教育課長 三林 大高  
学校教育課特命監 辻 哲哉  
学校教育課主幹 目黒 真平  
教育総務課課長補佐 種村 大輔
- 5 会 議 事 項 別紙のとおり
- 6 出 席 委 員  
.....  
.....  
.....  
.....
- 7 会 議 録 調 製 者 教育総務課課長補佐

(別紙) 会議事項

1 開会の辞

(事務局長)

ただ今から、令和8年第4回東員町教育委員会を開会いたします。  
それでは、教育長に進行をお願いいたします。

2 前回会議録の確認

(教育長)

それでは、しばらく時間をとりますので、前回会議録の確認をお願いいたします。

<前回会議録の確認>

何か質問はございますか。無ければ会議終了後に署名をしていただきます。

3 事務報告、事務計画

(教育長)

事務報告、事務計画について説明します。

<以下、事務報告、事務計画資料により説明>

事務報告、事務計画については以上でございます。

各校の入学式・入園式等に出席いただいた、ご感想等あればいただけますでしょうか。

(委員)

私は、笹尾東の幼稚園・保育園の入園式に出席しました。子どもたちは大変落ち着いており、先生の話を保護者とともに静かにしっかり聞いていて、とても良い雰囲気の中で式が進められていました。

また、笹尾東小学校の入学式にも出席しましたが、歌声が体育館に響き渡って、日頃からしっかり練習に取り組んでいることが感じられました。

東員第一中学校の入学式では、ちょうど席から子どもたちが1列に見える位置だったのですが、全体的に姿勢がやや猫背気味で、いわゆるスマホ首のようにも見受けられたことが少し気になりました。式そのものは大変良かったと思います。

(委員)

私は、東員第一中学校の入学式に出席しました。校長先生の「共に学びましょう」という言葉で締めくくられたことが印象的で、とても良かったと感じました。

また、神田小学校の入学式にも出席しましたが、校長が代われ、教頭とともに大変にこやかに対応されていたことが印象に残っています。学校長がそのような雰囲気でおられることは、学校全体にとっても非常に良い印象につながると感じました。

さらに、今回は神田幼稚園で大変印象に残る場面がありました。雨の中での式でしたが、園長と副園長がカップ姿で迎えてくださいました。入園式で園長から「3歳という時期は、どうしても自分を一番に考える心が働くため、喧嘩や葛藤が起こるのは当然のことです。しかし、そうした経験を一つひとつ乗り越えていくことこそが、人間形成において極めて重要なのです。ですから、どうか心配することなく、私たちと一緒に子どもたちを育てていきましょう。」という趣旨のお話があり、その話の後に自然と拍手が起こったことも強く印象に残っています。入園式で拍手が起こる場面は、私にとって初めての経験でした。告辞を述べた後にも拍手をいただき、その場の温かな雰囲気に触れ、誇らしい気持ちになるとともに、教育委員を務めていて本当に良かったと感じました。大変感動した式でした。

出席していた保護者からも、園長に対する信頼が非常に厚く、園長のことを大変慕っておられることを聞き、改めて、東員町が大事にしている16年一貫教育プランの入口である幼児教育があれだけ丁寧に行われているというのは本当に素晴らしいことだと感じました。

(委員)

私は、三和小学校の入学式に出席しました。卒業式も三和小学校に出席しましたが、伝統的に鼓笛にしっかり取り組まれており、卒業式でももちろん印象に残っていましたが、入学式でも最後に鼓笛で退場する姿が見られ、いつも大変感動的で、素敵な伝統が受け継がれていると感じました。

また、東員第二中学校については、校長にとって初めての入学式ということもあり、やや緊張されているようにも見受けられましたが、新入生も在校生も大変落ち着いており、集中して式に臨み、1時間余りの時間をしっかりとやり遂げていました。新年度最初の日でありながら、受け入れ体制が整っており、子どもたちも意欲をもって学業に向

かっていることを大変嬉しく思いました。

(委員)

笹尾西小学校、東員第二中学校ともに、新入生を温かく迎えようとする雰囲気があり、大変良いことだと感じました。東員第一中学校についても、先ほど言われたように新たな環境の中で、生徒たちはきちんとした様子であり、どの学校においても新入生を温かく迎えていることが感じられて良かったと思います。

(教育長)

ありがとうございました。各校とも良いスタートが切れたとのことをお話を伺い、私も三つの式に参加しましたが、同様に良いスタートができていると感じました。

また、拍手が起こったというお話もありましたが、厳粛な式の中でそのような場面が生まれるのは珍しいことだと思います。それだけしっかり話が聞かれ、内容が受け止められていたからこそその拍手であり、その背景には、日頃からの信頼関係がしっかりと築かれているのだと改めて感じました。

今、お話いただいたように、子どものことをしっかり受け止めるとともに、相手の立場も含めて丁寧に見ていこうとする雰囲気が続いていけば、子どもたちはまっすぐに伸びていくのではないかと思います。大変良いお話を伺いました。

また、引き続き1年間、良いスタートを大切にしながら取り組んでまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

#### 4 議事

報告第5号 令和7年度中学生卒業生の進路状況の報告について

(教育長)

報告第5号 令和7年度中学生卒業生の進路状況の報告について、事務局の説明を求めます。

(学校教育課主幹)

報告第5号 令和7年度中学生卒業生の進路状況の報告について、ご説明いたします。

<以下、報告第5号資料により説明>

(教育長)

ただいまの報告につきまして、ご質問等はございますでしょうか。

四日市農芸高校など、さまざまな学科を希望して進学している子どもたちも一定数おり、それぞれが自己実現に向けて選択肢を広げていることを感じます。一方で、通信制への進学が比較的多い点については、不登校であった子どもたちが通信制を進路に選択している傾向がみられます。

(委員)

大台町にも、おおぞら高校のように短期間ですが体験活動を大切にす通信制高校ができると聞いています。最近通信制高校の内容も充実してきており、子どもたちが自分に合った学び方を選べる機会が増えていると思います。

(教育長)

おおぞら高校ですね。東員第一中学校の生徒については、四日市市にも拠点があるため、四日市校に通うことになるのではないかと思います。

県の南部地域にも、そうした受け皿が新たに整備されつつあります。大台町と東員町は姉妹町であることから、昨年の大台祭りに伺った折に、その会場の一つのブースに屋久島おおぞら高校の紹介がありました。話を聞いてみると、閉校となった小学校を活用して、受け入れ先の分校のような形で、スクーリングなどの際に通って学ぶ場所を整備する計画があるとのことでした。

そうした意味では、北勢地域には比較的多い印象がありますが、三重県内でも南部の方にこうした受け皿を設ける動きが出てきていることが分かりますし、廃校となった小学校の活用方法としても、興味深い事例であると感じました。

他にご質問はございますか。無ければ、議事を進めます。

報告第6号 令和8年度教育委員会事業概要につきまして

(教育長)

報告第6号 令和8年度教育委員会事業概要につきまして、事務局の説明を求めます。

(教育総務課長)

報告第6号 令和8年度教育委員会事業概要につきまして、教育総務課に係る事業について、ご説明いたします。

<以下、報告第6号資料により説明>

(学校教育課長)

報告第6号 令和8年度教育委員会事業概要につきまして、学校教育課に係る事業について、ご説明いたします。

<以下、報告第6号資料により説明>

(事務局長)

報告第6号 令和8年度教育委員会事業概要につきまして、社会教育課に係る事業について、ご説明いたします。

<以下、報告第6号資料により説明>

(教育長)

何かご質問はございますか。無ければ、承認いただける方は挙手を願います。

(委員)

私は保護者の立場からの意見として、学校教育の「いじめの根絶と命を大切にす教育」に関してですが、実際に子どもたちが抱えている問題として、例えば新学期が始まり、新たにLINE等のSNSのグループが作られる中で、ある子どものコメントに対して送られた一つのスタンプによって傷つき、その子どもがグループを退出してしまうといったことがあります。さらに、その話を聞いた保護者が、誰がそのようなことをしたのかを探しに行くといったケースもあるようです。こうしたSNS等の使い方やモラルに関する指導についても、進めていただけると大変ありがたいと感じます。

(学校教育課長)

各校において、篠原先生をお招きし、児童生徒や保護者を対象とした講話等を実施しております。また、スマートフォンの利用に関するパンフレットも作成しております。引き続き、周知を図るとともに、学ぶ機会を設けていけるよう検討してまいります。

(教育長)

特にスマートフォンに関するリーフレットについては、作成したこと自体が目的ではありませんので、これを活用しながら、町全体の取組として広げていけるようにしたいと考えております。

新しいLINE等のSNSのグループもおそらくできている時期ですので、子どもたちの心配事や困り事をしっかり把握し、それに応じた学習を進めていく必要があると感じています。あわせて、心を育てていくという視点についても、全体で取り組んでいく必要があると考えています。その他いかがでしょうか。

(委員)

私からは、中学校の部活動に関連して申し上げます。中学校の部活動については、働き方改革の影響もあり、従来より控えめになってきていると感じますが、中学生にとっては、体育的な活動が非常に大切な時期でもあると思っています。

そのため、放課後子ども教室の拡充なども含め、先生が直接指導しなくても、町民の皆さんとともに中学生の部活動や活動の場を支えていけるような町になっていくとよいのではないかと感じています。

(学校教育課長)

部活動につきましては、今年度から、まず休日の部活動を学校から切り離すところから始めてまいります。その中で、子どもたちの土日の居場所の確保という観点から、スポーツ協会のフレンドリークラブや文化協会の講座、市民活動支援センターにおける事業などについても検討を進めていただいております。

今後は、民間団体とも調整しながら、できる限り子どもたちの希望に応じた活動の場を何らかの形で準備できればと考えております。

(教育長)

3月に行われたスポーツ庁の有識者会議では、次期学習指導要領においても、部活動は引き続き残る方向になりそうな指針が示されているようです。読み方によっては、地域展開された地域クラブを教育活動として位置づけていく方向にも受け取れます。

一方で、学校部活動の在り方に絞って考えると、今後どのように位置づけられていくのかは分かりにくい面があります。もともと部活動の地域移行は、教職員の働き方改革を出発点として始まったものですが、取

り組みを進める中で、子どもたちのスポーツ・文化活動をどう保障するのかという課題が出てきました。そのため、地域で受け皿をつくっていく方向になってきています。

現状では、全国的には学校部活動と地域クラブが併用されながら進んでいくのではないかと思います。県内でも学校部活動を完全に切り離すことを打ち出している市町がある一方で、模索しながら進めているところも多いと感じています。

本町でも、12月のアンケートで、3分の1の子どもが平日と同じことを休日にもやりたい、3分の1が平日とは違うことをやりたい、残る3分の1は受け皿があっても行かない、あるいは休息に充てたいと考えていることが分かっています。したがって、単に地域移行という考え方だけでなく、子どもたちにさまざまな活動の場を保障するという視点で進めているところです。

フレンドリークラブの講座新設をはじめ、文化講座や公民館講座、文化協会においても、中学生の受け皿づくりを進めているところです。また、地域の中で中学生を指導したいという声もあることから、そうした人材も含めて活動の場を整備していくことが重要だと考えています。

各種団体の活動にはそれぞれ役割がありますが、中学生や高校生を対象としたジュニアスポーツの受け皿は十分とは言えません。今後、こうした受け皿を整えていくことが、中学生の活動の場の確保につながると考えています。

令和8年9月以降は、休日の中学校部活動は行わないということを大きな方針として掲げています。中学校には時間外勤務が80時間超、100時間超となっている教職員もおりますので、それを抑える観点からも、部活動は優先的に見直す対象の一つになると考えています。今後もそうした観点で進めていきたいと思っています。

## 5 その他

・後援について

(教育長)

後援第14号 第63回道徳教育研究会 一三重会場一、

後援第15号 第17回「はたらく人にありがとう」メッセージ募集、

後援第16号 第二回ドローンのお仕事体験フェスタ、

後援第17号 キッズスポーツチャレンジ2026 in 長島運動公園、  
後援第18号 令和8年度子どもと教育を考える集い・第66回東員町教育研究大会、  
後援第19号 講座&ワークショップ「7か国語で話そう」多言語の波に浸ろう！、  
後援第20号 第82回日本PTA東海北陸ブロック研究大会三重大会について、事務局の説明を求めます。

(社会教育課長)

後援第14号 第63回道徳教育研究会 一三重会場一、  
後援第15号 第17回「はたらく人にありがとう」メッセージ募集、  
後援第16号 第二回ドローンのお仕事体験フェスタ、  
後援第17号 キッズスポーツチャレンジ2026 in 長島運動公園、  
後援第18号 令和8年度子どもと教育を考える集い・第66回東員町教育研究大会、  
後援第19号 講座&ワークショップ「7か国語で話そう」多言語の波に浸ろう！、  
後援第20号 第82回日本PTA東海北陸ブロック研究大会三重大会について、ご説明いたします。  
<後援第14号から20号資料により説明>

(教育長)

何かご質問はありますか。  
質問等なければ、これらを後援させていただきます。

(教育長)

後援第21号 きっず～な うんどうかい2026、  
後援第22号 マイボトルデザインコンテストについて、事務局の報告を求めます。

(学校教育課長)

後援第21号 きっず～な うんどうかい2026、  
後援第22号 マイボトルデザインコンテストについて、ご説明いたします。  
<後援第21号、22号資料により説明>

(教育長)

何かご質問はありますか。

質問等なければ、これを後援させていただきます。

- ・ 学校運営協議会導入計画について

(学校教育課長)

令和8年度から白山小学校に先行設置しております学校運営協議会、いわゆるコミュニティ・スクールにつきまして、今後は町全体へ広げていく方向で進めていきたいと考えております。このたび学校運営協議会導入計画を策定いたしましたので、特命監よりご説明させていただきます。

(特命監)

1月にご説明させていただきました学校運営協議会ですが、4月より城山小学校に設置されました。事務は、元校長の二人を中心に進めていただくこととなりました。5月には第1回運営協議会を予定しております。

導入計画につきましては、「持続可能であること」「学校支援であること」「子どもの成長に寄与するものであること」の3点を基本として、今後展開してまいります。令和10年度までに、町内4小学校及び中学校を含めて拡大していきたいと考えております。以上です。

(教育長)

ただいまの報告につきまして、ご質問はありますでしょうか。

(委員)

まだイメージが十分に湧かないところがありますので、どのような活動を行い、子どもたちにどのようなプラスがあり、また教職員の負担にもならない形で進めていくのか、今後見えてくるとよいと思います。

ぜひ実のあるものになってもらえればと思っています。

(特命監)

城山小学校では、すでに学習支援、環境整備、登下校の安全管理などの活動がありますが、今年度の大きな取組として、放課後の学習会を通

年で実施したいと考えております。金曜日の放課後に子どもたちを集めて進めていきたいと考えております。

(教育長)

城山小学校につきましては、特に積極的に関わっていただいている方々がありますので、そうした関わりを組織的にうまく整理していくことで、学校の運営にも一緒に参画していただけるような形に成長していけば、有益な組織になるのではないかと考えております。

(特命監)

成果と課題を分析しながら、まずは東員第二中学校区から整備を進めていければと考えております。

(委員)

他の地区の方にも、城山小学校での取組を知っていただく機会を設けていただけると、広がっていくきっかけになるのではないかと思います。

(教育長)

ありがとうございます。

調整してまいります。

次回定例教育委員会日程について、事務局お願いします。

(教育総務課長)

次回ですが、令和8年5月29日(金)午前9時30分から東員町教育委員会を開催することとしてよろしいか。

(全委員)

異議なし。

## 6 閉会の辞

(事務局長)

これもちまして、令和8年第4回東員町教育委員会を閉会いたします。